

2022年4月20日

逗子市

逗子アートフェスティバル【ZAF】2022 プレ企画
大型アート作品「海のほとり美術館」展示決定
2018年から続く延べ約3,000名との共同作品の集大成

●「海のほとり美術館」開催概要

- ・ 会期：2022年（令和4年）5月21日（土）～6月5日（日）
※雨天中止、時間等詳細はホームページ（<https://bokuuta2022.localinfo.jp/>）要確認
- ・ 場所：小坪飯島公園プール（神奈川県逗子市小坪5丁目24番9号）
- ・ 主催：海のほとり美術館実行委員会、逗子アートフェスティバル実行委員会
- ・ 共催：逗子市、逗子市教育委員会
- ・ 企画運営：逗子アートネットワーク（アーティスト：松澤有子、企画：長峰宏治）

●「海のほとり美術館」とは

アーティストと市民が共に作り上げる参加型のアート作品

「海のほとり美術館」は、アーティスト松澤有子と、逗子市民中心のボランティア延べ約3,000名が共同で制作した大型インスタレーションのアート作品です。2018年から、「ぼくたちのうたがきこえますか」と題し、ZAF参加作品として毎年作品を発表し続けてきました。

新型コロナウイルス感染症の影響により2021年は中止 制作は続けられ5月に展示決定

2021年の展示は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされたものの、市民との共同制作は継続。逗子市立小学校や地域に根差した活動をする様々な団体・個人からの協力を得て、作品は作り上げられています。

海岸に漂着したプラスチックや廃プラが作品の素材に 終了後もアップサイクルで活用

2018年当時、アイデアのきっかけは、松澤が自身の子どもと散歩中に逗子海岸で拾ったカラフルな漂着プラスチックでした。廃棄されるプラスチックを素材に作品を制作し、展示終了後も家具の一部の素材などにアップサイクル（再利用）することで、できるかぎり廃棄物を生まない作品制作・展示を目指します。作品を通じて、海洋プラスチックなどの環境課題と美しい海、そして私達の生活のあり方を考えるきっかけづくりになることでしょう。

●作家について

松澤 有子（まつざわ ゆうこ）

1975年神奈川県逗子市生まれ、逗子市在住。2007年シドニー大学大学院美術学部卒業。オーストラリアでアーティストとしてのキャリアをスタートし、9年間の活動を経て日本に帰国。日本での主な展示は「大地の芸術祭（2009）」「黄金町バザール（2011）」「静岡市美術館（2014）」など。2児の母。

【資料】海のほとり美術館関連資料（別添）

本件に関するお問い合わせ先：

市民協働部文化スポーツ課 香山・中川

電話：046-873-1111 内線 275